

# 衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

岐阜県選挙管理委員会

この公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷して作成したものです。

## 進めたい4つの政策

バラマキで終わりにしない、未来への先行投資を。これからの日本に必要な制度を。経済そのものを強くする政策を。

1 **新型コロナウイルス感染症対策**

検査の拡充や治療薬へのアクセスの整備により、早期発見・早期治療を推進します。国内外の製薬企業との交渉に注力する一方、国産ワクチン開発と承認を促進し、安定供給できる態勢を整えます。また、命と暮らしを守るため、持続化給付金や10万円再支給などの補償を速やかに行います。

2 **若者世代を起点に、全世代にわたる好循環をつくる**

若者一人ひとりの学びと成長を応援する、高校授業料の完全無償化、大学の給付型奨学金の拡充。これからのライフスタイルに必要なワーク・ライフ・バランスの浸透、選択的夫婦別姓制度、不妊治療への保険適用等の推進。「弱者を生まない」全世代型社会保障への転換と同時に、ボーダレス化、デジタル化が進む世界で、さまざまな創造と挑戦をバックアップします。

3 **失われた強さを取り戻す経済政策**

超大企業と富裕層だけが豊かになる株権のみ、金融政策頼みから脱却し、強い実体経済を取り戻すため、感染症の影響で冷え込んだ家計を温め、消費を伸ばす政策を実施します。時間的消費減税と所得税の減免、最低賃金引き上げなどを行い、厚い中間層の創出で格差の縮小を目指します。

4 **デジタル化、オートメーション化を一人ひとりのために**

あらゆる世代にデジタルインフラ時代、(自動運転など)オートメーション時代のメリットをもたらすインターフェイスを確立するとともに、テクノロジーを危機管理の最適化やスピード化、公共サービスの充実、文化資源の保存や活用などに役立て、地域での暮らしの幅を広げます。

### 川本けいすけプロフィール

1991年(平成3年)10月11日生  
私立東海高等学校卒業  
早稲田大学国際教養学部卒業  
米田ローレンス大学交換留学  
フレディ・スミスシンガポール支社勤務  
メルガン・スタンレー-MJFG証券勤務  
現在、立憲民主党岐阜1区総支部長  
【SNSで情報発信中!】  
Facebook  
Instagram  
Twitter

### 政治を変えれば、未来が変わる。

立憲民主党の考え方	自民党政権の対応
「お互いさまに支え合う社会へ」医療費削減政策を転換し、医療・公衆衛生の整備を迅速に進める	時代遅れの新自由主義に固執し、病床削減推進など生命と健康に直結する医療・公衆衛生まで自己責任押しつける
疲弊する医療・介護従事者への支援、低所得者・中小事業者などに十分な補償を行う	中小企業を支援する持続化給付金や家賃支援給付金を1回限りで打ち切り
時間的消費減税を行い、大企業・富裕層の負担拡大と所得の再分配を強化し格差を是正	大企業・富裕層に減税で優遇する一方、低所得者の負担が重い消費増税を推進
ジェンダー平等を実効性あるものとするため選択的夫婦別姓制度やLGBT平等法などを成立させ、性暴力根絶に向けた法整備を推進	憲法草案は旧来の家父長制的家族観が色濃く反映。選択的夫婦別姓制度に根強い反対論、LGBT理解促進法案は先送り
議員間男女同数化(パリティ)を推進	次期総選挙では女性候補比率の目標定めず
石炭火力発電から脱却し、核に頼らないエネルギー政策で脱炭素社会を追求	石炭火力発電の新増設を続け、原発再稼働・新増設が前提のエネルギー政策を推進
コロナ禍に際した憲法改悪に反対。安保法制、秘密保護法、共謀罪法などの違憲部分を廃止	集団的自衛権の行使を容認する違憲の安保法制などを強行し、立憲主義を破壊。9条改正に固執
核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加に取り組み、条約批准を目指す	核兵器禁止条約への批准を拒否し続ける
沖縄・辺野での新基地建設を中止、合衆国に再交渉求める	沖縄県民の民意を踏みにじる新基地建設を強行
森友・加計問題、桜を見る会疑惑など、権力私物化の疑惑を真相究明する	公文書の改ざん、隠ぺい、虚偽答弁、審議拒否で真相究明から逃げ続ける
日本学術会議の会員を同会議の推薦通りに任命	日本学術会議会員候補6人の任命を拒否し続ける



立憲民主党

川本けいすけ 30歳

## 未来の政治改革に命がけ

平和慣れした国民に訴えたい  
財政再建 政治不信解消 議員報酬を減額  
コロナウィルス対策は重要 棋士は政治に最適



改革未来党

土田正光 77歳

多大な国債発行を続ければ日本経済は破綻するので、財政再建に尽力します。先進国では議員は国民に奉仕するものです。今の議員報酬は高過ぎるので、減額します。国民も議員の言動を見抜いて、政治不信となり、投票率が年々低下してきました。投票の棄権は国民の大事な権利を放棄することになります。私は改革未来党を立ち上げ政治不信の解消に邁進します。

新型コロナウイルスの感染防止対策は極めて重要です。コロナワクチンの予防接種を受けられない人もまだおられます。希望される人に早急に受けてもらう対策が必要です。私の趣味は飲食です。飲食ではフェースシールドをつけ下から飲むことを実行し、人と対面して飲みません。お客も店も飲食時間を一時間半に制限する。満員電車は感染リスクが高いので、状況に応じて規制も必要です。

囲碁棋士になる人は人の心を読むのに長けています。棋士は哲学者でもあり、政治家に最適だと思います。

私の父は岐阜県社会党初代委員長で戦前より全国の労働組合創りに生涯を捧げました。母は戦後野田卯一氏と交互に衆議院議員に当選した自民党の柳原三郎の妹です。私は10歳の頃より国会議員になってこの国のために改革をしたいと思うようになりました。吉田松陰の説いた「男は死んでもよいと思った事に命をかけよ」が私の人生の指標であり、それを囲碁棋士として実行してきました。

### 主な経歴

- 昭和32年 中学1年で木谷實九段に内弟子として入門
- 48年 日本棋院岐阜支部設立し常任理事となる
- 49年 囲碁棋士八段 日本棋院理事を務める
- 54年 日本棋院中部総本部初の棋士九段となる
- 平成31年 岐阜県議会議員選挙出馬

## 政権交代で、政治を変えましょう

これまでの政府のコロナ対応は、①科学無視、②医療・公衆衛生切り捨て、③まともな補償なしで、反省もありません。私はワクチン接種と一体の無料PCR検査、病床・保健所の予算二倍化、一人10万円の「暮らし応援給付金」を提案しています。

世代も業種もこえた格差と貧困が広がり、自己責任を押し付ける冷たい政治・自公政権に審判を下しましょう。政権交代を願うあなたの1票を、市民と野党の共同に誠実にとりこんできた日本共産党とやまこしとおるにお寄せください。



日本共産党 やまこしとおる

### 新しい日本をつくるための四つのチェンジ

1 **命と暮らしを大切に政治**

- 弱肉強食、自己責任押しつけの政治を終わりに
- 高齢者の医療費負担増を中止
- 非正規社員を正規社員に
- 税金の不公平をただし、消費税を5%に減税

2 **気候危機を打開する**

- CO2を最大60%削減
- 脱炭素、省エネ、再エネの促進
- 石炭火力・原発ゼロの実現

3 **ジェンダー平等の日本を**

- 男女の賃金格差をなくす
- 選択的夫婦別姓、同性婚を認める法改正を
- 性暴力の根絶 財界言いなりの働き方を改める
- 差別の価値観を根絶

4 **憲法を生かす**

- アメリカいなりから抜け出す
- 辺野古新基地建設は中止
- 核兵器禁止条約に署名・批准する政府をつくる
- 憲法9条を生かした平和外交を

国民のSOSに 応える政治に

自公と補完勢力の冷たい政治をやめて、政権交代へ 日本共産党を伸ばしてください



比例代表の投票は 政党名でお書きください

日本共産党へ

1970年生まれ 51歳  
●県立岐阜工高(定時)卒業  
●岐阜県市委員長

## 新たな日本のために、自民党を変える!

～皆さまと野田聖子とのお約束～

### 【新型コロナウイルスから暮らしと生命を守る】

菅内閣は対コロナ対策の切り札としてワクチン接種に全力で取り組んできました。その成果として、ワクチン接種率の上昇に伴い、新規陽性者数の割合は低下しています。そして、10月4日に発足した岸田新内閣においても、ワクチン接種、医療体制の確保、検査の拡充など、あらゆる事態を想定した対応策の取りまとめを進めています。引き続き、国・県・市が一体となって、皆さんの暮らしと生命を守るため、新型コロナウイルス対策に全力を尽くします。

### 【こどもは国の宝】

日本が抱える最大の問題である少子化。その解決には、こどもを産み育てやすい環境整備の加速化とともに、教育や福祉などのあらゆる分野をこどもの視点・立場に立て見直し、こどもの命や安全を守る施策を強化する必要があります。「こども庁」の創設により、誰一人取り残されることがなく、こどもが掴む未来の選択肢を増やします。

### 【岐阜市の発展を推進】

経済と生活の基盤である道路。県や市と連携し、東海環状自動車道、国道21号、156号などの道路整備事業費として、国から4年間で約1,557億円の予算を獲得することができました。整備事業の推進により、渋滞など生活ストレスの解消やストック効果による経済発展を目指し、引き続きしっかりと取り組みます。また、いつ発生するか分からない自然災害への備えも大切です。河川改修や護岸工事などの防災減災対策により、皆さまの暮らしを守ります。

### 【4年間の実績】

衆議院議員としての活動のほか、総務大臣、予算委員長、党・政治制度改革実行本部長、そして幹事長代行など様々な役職を歴任させていただきました。その実績を一部ご紹介します。

■まちづくり—東海環状自動車道や国道21号、岐阜東バイパスなどのインフラ整備。その他、長良川の護岸整備や伊自良川の河川改修などの防災・減災対策に取り組みました。

■議員立法—法律を作ることは国会議員にとって最も大きな仕事。長年取り組んできた議員立法である「医療的ケア児支援法」「政治分野における男女共同参画推進法」「生殖補助医療法」を成立させることができました。

- 守る** 自分が約束したことは必ず守ります。皆さまの暮らしを守ります。
- 支える** 将来への不安をかかえる皆さまお一人おひとりをお支えます。
- 聞く** 様々な立場の皆さまの声をしっかりと聞き取ります。

### 主な経歴

平成10年 郵政大臣 / 平成20年 消費者行政担当大臣 / 平成24年 自民党総務会長 / 平成29年 総務大臣 令和2年 自民党幹事長代行 / 令和3年 内閣府特命担当大臣、こども政策担当大臣ほか



比例代表も自民党へ

61才